

秋田市教育委員会
会議録

令和3年10月定例会

記録者

秋田市教育委員会令和3年10月定例会会議録

- 1 日 時 令和3年10月28日(木曜日)
午後2時30分～午後3時30分
- 2 場 所 5-A会議室
- 3 出席委員 教育長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員
- 4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
学事課長
学校教育課長
教職員室長
学校適正配置推進室長
生涯学習室長
中央図書館明德館事務長
総務課参事
中央図書館明德館参事
総務課長補佐
学事課長補佐
総務課副参事
学事課副参事
学事課副参事
教育研究所副所長
学校適正配置推進室副参事
総務課主席主査
総務課主査
総務課主任

5 議 題

【付議案件】

議案第16号 職員の人事について承認を求める件

議案第17号 秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件

議案第18号 秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件

【教育長等の報告】

- (1) 第4次秋田市教育ビジョン（原案）に対するパブリックコメントの結果について
- (2) 令和3年9月市議会定例会の審議状況について
- (3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について
- (4) 秋田市立中央図書館明德館文庫の休館日について

6 議 事 午後2時30分開会

【令和3年9月定例会会議録の承認】

令和3年9月定例会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

教育長が今回の会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【非公開の議決】

教育長 議案第16号「職員の人事について承認を求める件」は、人事に関する案件であるため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第7項ただし書の規定により、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいと思うがどうか。

※ 以上の発議があり、全員賛成により議決した。

【付議案件】

議案第17号 秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件

教育長 議案第17号「秋田市立小、中学校通学区域の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

委員 飯島小学区の一部が、飯島南小学区と上新城小学区に挟まれているが、どのような経緯でこのようになったのか。

学校適正配置推進室長 飯島南小学校ができた際、飯島小学区の一部であった紫色部分を飯島南小学区として定めたものと思われる。そのため、赤色部分が上新城小学区と飯島南小学区に挟まれた形となった。学校統合準備委員会において、緑色部分と紫色部分をつなぐことにより、学区が離れてしまうことを解消したい旨説明し、了承を得たものである。

委員 このような機会に学区も整理され、良かったと思う。

※ 議案第17号については、全員賛成により、議決された。

議案第18号 秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件

教育長 議案第18号「秋田市立学校給食共同調理場等管理運営規則の一部を改正する件」について、事務局から説明願う。

学事課長 (資料に基づき説明)

※ 議案第18号については、全員賛成により、議決された。

【教育長等の報告】

(1) 第4次秋田市教育ビジョン（原案）に対するパブリックコメントの結果について

教育長 それでは、報告(1)「第4次秋田市教育ビジョン（原案）に対するパブリックコメントの結果について」、事務局から説明願う。

総務課長 (資料に基づき説明)

委員

一般の方からは3名、市民100人会から8名、計11名の方から、学校に対する心配や社会情勢等から考えていただいた意見だったと思う。

給食の民間委託についての意見だが、どこかの大きい調理場で作って学校に届けるという認識が先行していると思った。

また、基礎学力調査が教職員や子どもたちの負担となっているという意見だが、どのように学校が生かしているかという意見だと思われる。調査結果は、先生方や子どもたちに還元していくのだが、市民や保護者にPRするものではないというのが実態で、必要な調査であるというスタンスがいいのではないかなと思う。

図書室に関する意見についてだが、学校の図書室は、子どもたちが親しんでいる空間となっているため、お子さんがいらっしやらない方の質問かと感じた。学校も様々な情報を広報等でPRしているようなので、何かの折に学校の図書室の状況をPRできる機会があれば分かってもらえるのかなと思った。

委員

これらの意見を拝見して市民の皆さんが学校に対して相当関心があるのだと感じた。学校という所は「開かれた学校」とよく聞くものの、ほとんど閉じられた空間という印象があり、一般の方は学校の状況を知る機会はなかなかないと思う。そのような状況においても、学校や子どもたち、そして地域を心配し、様々な意見をお持ちの方がこれだけいるということは、それだけ関心が高いということであるため、行政に携わる方々は説明するところは説明し、改善していくところは改善していかなければならないという感想を持った。

教職員の多忙化解消については、一定の評価があるようなので、ご指摘があったところは検証し、次に繋げていただきたい。

委員

寄せられた意見を拝見すると、市民の方の率直な意見、提案であり非常に参考になる部分がある。例えば小学校の通学路で危険な場所は細かく広範囲にわたって指摘されている。学校側もしっかり把握したうえで警察と点検を実施しているので、学

校でも承知しているとは思いますが、普段通っている方でも危険と感じている箇所があると思うので、危険箇所についてはしっかり認識して対策をしていくことが大切かと思う。

まるごと秋田を食べよう給食が1年に1回しかないので、シーズン通じてやったらいいのでは、という意見だが、確かにそのとおりだと思う。予算の関係もあるだろうが、こういったご意見もあったということも参考にさせていただきたい。

学校教育課長 年間を通じてできれば良いと思っている。特に11月から給食を市内産、県内産で郷土料理とするというものもあるが、家庭科等、教科の中で紹介したり学ぶ機会はある、11月に限らず、給食の献立で紹介するなど、全体を通じて学ぶ機会を作っている。

委員 様々な意見がある中でも、厳しいコメントもあるが、限られた予算の中で工夫していることを市民も理解している部分があることをパブリックコメントを見せてもらって感じた。市民にも教育現場をわかりやすく発信するためには、町内等で配布される冊子、広報、又はホームページ等しかないのかと思うが、今後はSNSなど様々なメディアを利用するなど、時代に合わせなければいけないと感じた。

教育長 評価をしていただいている意見もあり、大変ありがたいことでその期待に応えなければならないという気持ちが強くなるが、一方では、委員の皆さんからお話があったように、中には状況をよくご理解いただけていないと思われる意見もあるということは、我々ももっとPRしていく必要があると思う。このような意見も参考にしつつ、教育ビジョンの完成、そして実現に向けて取り組んでいきたい。

※ 報告(1)については、以上のとおり終了した。

(2) 令和3年9月市議会定例会の審議状況について

教育長 次に、報告(2)「令和3年9月市議会定例会の審議状況につ

いて」、事務局から説明願う。

総務課長

9月2日から開会し、10月8日までの期間で開かれた9月市議会定例会の審議状況について報告する。

はじめに、次世代型学校ICT環境整備事業や、学校給食調理業務委託に伴う債務負担行為の設定など、補正予算案については、9月17日に行われた予算決算委員会教育産業分科会において審議され、同27日の予算決算委員会全体会において原案どおり可決すべきものと決定された。

なお、教育産業委員会分科会では、「次世代型学校ICT環境整備事業」について、小中学校のタブレット端末と比較して増額した理由やICT支援員の配置等について質問があり、市立高等学校では、文書制作、表計算等に加え、今後も様々な学習ソフトの導入が考えられることから、小中学校へ整備した端末より性能の高い機種を選んだことや、今回整備する3校へもICT支援員の配置等について検討する旨回答した。

そのほか、教育産業委員会へ、議案として「秋田市立学校設置条例の一部を改正する件」、「秋田市立中学校空調設備導入事業設計施工業務請負契約の変更契約を締結する件」を説明し、可決された。

なお、空調設備設置対象室数の増加を見込むことができなかった要因等について質問があり、契約締結時に2年後の学級数を見込むことが困難であったことや、特別支援学級が大きく増加した旨を回答した。

以上の補正予算案、条例改正案、請負契約の変更契約、いずれについても、9月29日の本会議において、原案どおり議決されている。

また、報告案件として「第4次秋田市教育ビジョンの策定について」、「令和3年度全国学力・学習状況調査における秋田市の結果について」、「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、以上3件を報告している。

次に、9月30日に開催された予算決算委員会教育産業分科

会では、令和2年度秋田市一般会計および特別会計歳入歳出決算認定について審議された。

審議においては、小中学校トイレ改善環境事業の進捗率や目標についての質問があったほか、次世代型学校ICT環境整備事業について、多額の不用額が出た要因は何かといった質問があり、プロポーザルにおける提案で、当初設計額より事業費を抑えられたことによる旨を説明した。

決算認定については、10月6日の予算決算委員会全体会において認定すべきものと決定され、同8日の本会議において認定されている。報告は以上である。

※ 報告(2)については、以上のとおり終了した。

(3) 学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について

教育長 次に、報告(3)「学校適正配置に関する地域協議の開催状況等について」、事務局から説明願う。

学校適正配置推進室長 (資料に基づき説明)

教育長 令和7年度の統合に向けて、11月2日に合意書に調印の予定である。現在通学している太平小学校と下北手小学校の3年生は現在の学校で卒業するが、1、2年生が高学年になった時に広面小学校と統合となる。統合まで時間的余裕はあるが、3校間における交流は今後どのように進めていくのか。

学校適正配置推進室長 今年度内に学校統合準備委員会を立ち上げる予定で、その中で3校の校長も委員になっていただき、交流について具体的な案を検討していく。

※ 報告(3)については、以上のとおり終了した。

(4) 秋田市立中央図書館明德館文庫の休館日について

教育長 次に、報告(4)「秋田市立中央図書館明德館文庫の休館日について」、事務局から説明願う。

- 中央図書館明德館事務長 (資料に基づき説明)
- 委員 今回、正月に休むことになったが、これまで休んでいなかった期間に市民学習スペースにはどの程度の利用者がいたか。
- 中央図書館明德館事務長 これまで80席を準備していたが、昨年の5月にコロナの影響を受けて現在35席に減らしている。昨年末は29日から30日までは50～60人、31日から元旦までは30～40人、3日は50人台という利用だった。
- 委員 思っていた以上に利用者が多いという印象である。
- 教育長 これまで年末年始は、6階の明德館文庫と市民学習スペース以外の店舗等は全てクローズしているという状況であった。
- 委員 最近は、コンビニエンスストアも営業時間が短縮されている中で、明德館文庫が年中無休でやっていたというのには驚いた。年末年始は休んでも特に問題はないかと思う。市民からもなぜやらないかという問い合わせも少ないのではないかと思う。
- 委員 一定数の利用者はいるため、広報などで周知し納得していただけるような対策をとれば問題はないと思う。
- 教育長 周知をしっかりと進めていただきたい。

※ 報告(4)については、以上のとおり終了した。

【その他、事務局からの報告】

学校教育課長 教育委員会9月定例会において、委員から意見があった「御所野学院高校連携型中高一貫入学者選抜に係る新型コロナウイルス感染症への配慮」についてであるが、御所野学院の一般選抜においては、県教育委員会が今後示すであろう配慮と同様に行いたいと考えているが、連携型選抜については主に次に挙げる理由から配慮は行わないこととした。

追試と別室受験による配慮があるが、追試を実施しようとした場合、追試から一般選抜の入学願書受付締め切りまでの期間が短く、追試による合格発表が願書締め切りまでに間に合わないということ、そして別室受験については、一般選抜の受験生

は別室受験できるのに対し、前期選抜は別室受験できないこととなっている。よって、前期選抜と同日に行われる連携型選抜で別室受験できることになってしまうと、前期選抜との公平性を確保するのが難しくなってしまう。これらの理由から配慮は行わないこととした。

教育長 連携型選抜を受験できなかった生徒には、その後の一般選抜という新たな目標に向けて支援していくということで対応できると思うのでよろしく願います。

【その他、委員からの報告】

委員 9月2日に開催された市町村教育委員会オンライン協議会について報告する。私が参加したのは前半と後半で他の自治体の方々とグループ協議するのだが、前半は教育の情報化、後半は学校における働き方改革が協議テーマであった。

教育の情報化については、グループ内の他の自治体の方の話でも、タブレットの1人1台の配布が終了している段階だった。高知市がタブレット端末の利用について、疑問がある場合のコールセンターを作って対応していることが興味深かった。本市は支援員で対応していると思うが、高知市の場合は教員だけではなく保護者も対応してくれるとのことだった。東京の自治体では、既にタブレットの持ち帰りをしているが、家でインターネットをした場合、何を閲覧したか全部把握されるので気を付けるようにという注意書面が配布され、それには違和感を感じるといった保護者の素朴な意見があった。本市ではそのようになっていないのではないか。

働き方改革については全国的に特効薬のような物はなく、ひとつひとつ意識を積み重ねて頑張っていくしかないという議論になった。その中で勤務時間の管理の仕方をICカードを利用するという自治体が複数あった。本市はオンラインで記入するタイプだったと思うが、やり方は様々あって面白いと思った。報告は以上である。

委員 私も教育の情報化について別のグループで参加したが、どの自治体もほぼ同じような状況であったが、本市は半歩先に進んでいると感じた。タブレットの持ち帰りについても、試験的に生徒の半数に持ち帰らせたり、今後持ち帰れるようにまだ準備段階であったりと自治体によって様々ではあったが、概ね持ち帰る方向で進めているのだと思った。千葉県松戸市の教育委員で大学教授の方がいたが、大学生の情報モラルがなっておらず、是非小学生や中学生の早い段階でしっかり身につけさせてほしいと言っていたことが印象的であった。

過疎地域の小規模校の取り組みについてのグループ協議では、高知市の特任校制度の紹介があった。過疎地域の学校に入りたい児童生徒を募集し、一定条件を満たした児童生徒に転校を許可しているという内容である。大規模校に合わない子どもたちが過疎の良さで伸び伸び育てたいということで、結構集まっているということであった。

教育長 本市の特認校制度についていかがか。

学事課長 秋田市にも特認校はあるが、希望者は数人程度である。今後、学校統合によって特認校とされている学校が減っていくということも考えられる。秋田市でもこういった制度があるというPRに努めていきたい。

教育長 タブレットの持ち帰りについてはどうか。

学校教育課長 秋田市でも、臨時休校等があった際にタブレットを持ち帰ることができるように準備を進めている。インターネットのログの調査については実施する予定はない。

委員 ICTで学んだことをクラウド上で情報を保存してもらえないか、卒業したら全くなくなってしまうのは寂しい、という話もあった。

学校教育課長 現時点ではデータ保存までは検討していないが、少なくとも今年の中学3年生は卒業するため、例えばUSB等に保存するという事は考えられる。

教育長 今は作業ファイルなどはデータセンターに保管されているの

か。

学校教育課長 クラウドサービスを利用し校内サーバーに保管されている。

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 11月定例会の日程についてお知らせする。11月定例会は、
11月19日（金曜日）午後1時30分を予定している。

教育長 11月定例会は、11月19日（金曜日）午後1時30分から
開催予定とのことである。委員の皆様、日程調整をよろしくお願
いする。

【付議案件】

議案第16号 職員の人事について承認を求める件

※ 議案第16号「職員の人事について承認を求める件」については、秘密会のた
め、秋田市教育委員会会議規則第21条の規定に基づき、会議録に記載しない。

午後3時30分閉会